

定年時代

横浜・川崎版

横浜(横浜)・川崎市内の朝日新聞に折り込んで45万部

発行 ©株式会社新聞編集センター 2015
〒103-0016
東京都中央区日本橋小網町11-10
岩尾大和ビル7F
電話 03-5614-5331
FAX 03-5614-5332
Eメール teinen@teinenjidai.com

広告のお申し込みは下記代理店へ
株朝日広告社 045(641)5151
日本コミュニケーション(株) 03(3661)2836
株創通 03(3986)3291
株ユーアンドユー 03(6427)7268
株多摩エージェンシー 045(575)7791

ASA (朝日新聞販売所)は高齢社会を応援します

朝日新聞サービスアンカー



横浜・関内の社屋ビルにある個人オフィスで

「熟年世代の応援歌、歌う南部なおとさん

昼はセールスマン、56歳で再デビュー

「青春はたった一度だけではない」と歌う南部なおとさん(64)。20代でグループデビューするも、30代で大手生命保険会社のセールスマンに転身、2007年に56歳にして「盛春歌」をリリースして再デビューを果たした異色の存在だ。昨年10月には第5弾となる「盛春の歌(夢は果てなく)」を発売。「私の歌は熟年世代の応援歌。今までよく頑張ったね、という励ましと前向きな気持ちをお届けしたい」と話す。(青井)

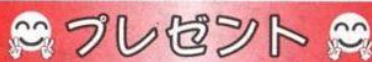
ジャズギタープレーヤーを目指して18歳で福井から上京、25歳で「南部直人とラブロマンス」として日本コロムビアからメジャーデビューした南部さん。その後数枚のレコードを出すも、カラオケの普及などで行き詰まりを感じ、34歳で生命保険の世界に飛び込む。営業を始めてしばらく経ったころ、取引先の企業で納涼会がギター演奏を頼まれ、引き受けたところ大成。評判が人脈の広がりを後押しし、以後、トップセールスを維持してきた。

「モットーは、諦めないこと。ポジティブでいること。あまり考え過ぎずに、(元巨人の)長嶋さんみたいに直感で動きます(笑)」。保険の仕事と並行してライブ活動も続けていたある日、保険の取引先の社長から「歌詞ができたので見てほしい」とファクスが届いた。紙には、力道山の空手チョップや長嶋野球に憧れ、石原裕次郎

「若い時と違って、ヒットさせよう!というがむしろさでなく、伝えたい、共感してもらいたい、元気を出してもらいたいという気持ちが軸です。ヒット曲を出すのは宝くじを当てるようなもの。身構えず、肩の力を抜いてやっています」。伝えたいのは、「若い時だけが青春ではなく、夢を持って働いているうちはずっと盛春だ」ということだと言

〈2面に続く〉

食べ物、各種招待券...



ネットからも申し込み

チャンスは⇒ **定年時代** 検索

情報満載「定年時代」ホームページ
各版1面記事バックナンバー掲載

- 街を訪ねランチ楽しもう 2面
- 女優・富沢亜古さん 3面
- プレゼントコーナー 4面
- 野鳥・トラツグミの魅力 5面

クリック

定 年 時 代

横浜・川崎の朝日新聞に折り込んで45万部

(2)

壁があるのが、人生

〈1面から続く〉

「人それぞれ、さまざまな試練があったと思う。けれどそれを乗り越えてきた熟年の人たちに、今までよく頑張ってきたね、これからはもっと前向きに生きようよ、というメッセージを込めて歌っています」と南部さん。



30年に渡り、保険でトップセールスを維持し続けている南部さんであっても、「これまでに眠れないぐらい悔やしいことはたくさんありましたし、今でも全てが自分の思い通りに行くわけじゃないことは日常茶飯事」と言う。

「でもそれが当たり前だし、そう思わないと駄目だと思う。壁があるのが人生」とも。南部さんの公式ホームページからは曲のPRのために作制したビデオが見られる。



「新曲の『盛春の歌』は、アニメーションを織り交ぜました。ストーリー性のある歌なので、紙芝居を楽しく見せて、聴いてください」

パレタインデー 歌謡ステージダイナミックショー

14日(土)午後5時半、東天紅上野店(地下鉄湯島駅徒歩3分)
南部なおと、大樹ゆたか、幡千恵子ほか。
1万6000円(料理、ドリンク込み)。
出演者は「Jソングアワー」でおなじみの042・482・6957

平成二十七年二月二日発行
朝日新聞 朝刊
「定年時代」平成27年2月号